

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-4	ワンウェイ型カーシェアリングシステムの導入可能性と道路空間の新たな利活用方策についての研究開発	熊本大学大学院 教授 溝上 章志	B
<p><研究の概要></p> <p>再配車を行わないワンウェイ型カーシェアリングシステムの我が国における導入可能性とその効果の検討、ステーション型の場合の最適デポ配置、フリーフロート型とした場合の道路空間の新たな利活用方策などについて調査・研究する。</p> <p><中間評価></p> <p>カーシェアリングシステム導入に向けたシミュレーションシステムが構築される等、研究は概ね順調に進んでいるが、大規模社会実験の実施に向けた準備がまだ具体化していないことから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カーシェアリングシステムの社会実験の実施に向け、車両の手配や駐車スペース確保等の課題が明らかになっていることから、社会実験の目的・本研究での位置づけを再度構築し、現実的な手段にて具体化していただきたい。 2. 規制等の調査の前提となる障害、データ等の調査実施上の障害という2つの障害を除去するための方策を検討し、実験実施の確実性を高めていただきたい。 3. 大規模社会実験を実施できない場合の、次善の策についてもあらかじめ用意されることが望まれる。 4. 引き続き世界各地の最新情報の収集を継続していただくとともに、道路局で実施しているカーシェアリングの社会実験と連携して取り組んでいただきたい。 5. 研究成果が、道路空間の利活用にどのように役立つのかについて、明確にしていきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。